

話を聞く内に、水銀坑跡へ。奈良時代当時日本一の生産量を誇り、丹生大師堂や奈良の大仏の鑄造にも関係があり、奈良朝の水銀公害による存亡とも関連があったらしい。古い坑道と昭和初期～昭和48年まで実際に採掘していたという新坑道が並んでいた。③昼食は野呂元丈の館で、薬膳定食を味わった後、土清の会としての目的地である薬草庭園を見学。足に自信のある方は、石段を上って山上の館跡を見学。松阪市では、ベルファームで憩いのひとときを過した後、④最終コースとして松阪城西南にある本居宣長記念館を見学した。折柄春の企画展「隨筆『玉勝間』の世界」の展示中であつた。土清講演会の講師として度々お願いしている吉田悦之研究室長による懇切丁寧な説明を受け、一同大満足。ちょうど、土清さんが反古塚建立の時の玉虫出現の様子を知らせた手紙が、軸に表装されて公開中で、思わぬ肉筆を目にすることが出来、感激ひとしおであつた。(①～③井田・藤井④奥田)

《津まつり10月12日(日)に初めて参加》

副代表 馬場幸子

実行委員会が津市との協働になり、最初の行事として「津まつり」参加を実行しました。人を呼び込む目玉に、くじ引きと薬草茶試飲を考え、6月の親睦旅行に行った時買ってきた薬草茶と会員の佐野さん自家製のドクダミ茶・ハブ茶・げんのしょうこ茶をくじ引き用に100個作り、試飲用には、十名ほどの会員が各自数袋ずつ持ち帰り、家で煮出して2リットルのペットボトル2・3本ずつを冷やして準備しました。

道行く人に会報や秋に行う会員募集のチラシ、身近な薬草のパンフなど配り、「いかがですか、薬草茶です」と勧めました。好天で暑かったせいもあり大好評で、1時過ぎには追加分も全部なくなってしまいました。お客さんとの楽しいやりとりもあり、「来年からもやろうね」と全員にこにこ顔での後片づけとなりました。

(20年度の出張講座) — 子供達から発信し始めた

…十年目の成果か…

例年、10月から1月くらいまでかけて実施していますが、今年度は3月に谷川土清生誕300年記念誌を発行するに当たり、記念コンクールの入賞作品も掲載するため、実施時期を早めて、6月～10月実施ということで出張先を募集しました。

表に挙げた八校の中には、旧津市で先生をなさっていた時、谷川土清の話聞いて、転勤先の学校でも取り入れて下さっていた方が嬉しく思いました。また、土清の講演会で講師をしていただいた本居宣長記念館の吉田悦之氏が、「津市の小学生が宣長記念館の土清の資料を見て『僕知っている。五十音順に並んだ国語辞典を作った人でしょ。土清の話をして来たおじさんやおばさんから教えてもらった』と言ってましたよ」とおっしゃったとき、子供達から発信することを目標に会員は十年間励んできましたので、願いは半分かなったと胸が熱くなりました。後の半分はいろいろですが…(副代表 馬場幸子)

月日	学校名	講師(補助)
6/3	新町	奥田、馬場、佐野
6/26	香良洲	馬場 (井田)
9/4	北立誠	馬場 (別所)
9/30	大井	別所勝 (奥田)
10/17	西が丘	竹内、馬場
10/17	上野	別所勝 (熊谷)
10/21	草生	奥田
10/23	豊が丘	竹内 (藤井)
11/20	豊津	佐野 (熊谷)

平成20年度の主な活動

平成20年

- 4/3 (木) 役員会・実行委員会(新町会館、以後もほぼ毎月同時開催)。
- 4/19 (土) 平成20度総会(新役員紹介、谷岡顧問・柘植課長・中村主査出席)
- 4/27 (日) 伊賀街道ウオーク「藤堂高虎公の通った道を歩きませんか～」(津城～伊賀上野城)
近鉄主催三重歴史街道構想津地区推進協議会共催協賛(旧宅付近案内の後、有志で片田前田宿まで)。
- 5/1 (木) 役員会・実行委員会(谷川土清生誕300年記念事業実行委員会としての寄金集め趣意書作成)
- 5/10 (土) 土清まつり～谷川土清記念茶会(福蔵寺)・史蹟めぐりウオーク・土清資料展示(旧宅)
- 5/16 (金) 役員会・実行委員会
- 6/3 (火) 小学校出張講座—新町小へ(以後11月までに8校)別表参照
- 6/6 (金) 役員会
- 6/8 (日) 谷川土清の会親睦研修旅行(丹生大師・あじさい祭・野呂元丈の館薬草園、ベルファーム、本居宣長記念館)
- 6/9 (月) みえ歴史街道構想津地域推進協議会 平成20年度総会出席(別所・森下)
- 6/13 (金) 実行委員会相談会(川瀬・葛西室長・馬場・藤井)